授業科目　社会福祉援助技術現場実習Ⅰ

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	社会
星野、梶原、渡辺	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	60（講義30、見学実習30）

【<概要>又は<一般目標:GIO>】

社会福祉士としての、専門技術（社会福祉固有の援助方法・技術）、専門知識（歴史、倫理、知識、各種社会福祉制度、隣接学問に関する知識）、基礎知識（関連知識、一般教養）、倫理性（価値観や思想、人権擁護、守秘義務）、主体性（自立性と共存性）の基礎について学ぶ。現場実習Ⅰは教室での専門知識や技術の基礎を習得しつつ、体験学習として位置付けに立ち、社会福祉分野の現場の状況を理解し、諸機関・施設で働く職員の役割を認識する。

【<学習目標>又は<行動目標:SBO>】

1 社会福祉各分野の機関・施設について分野別にその設置趣旨・目的・事業内容・利用者の実態等について理解する
2 現場への配属実習に入る前に見学実習をとおして社会福祉各分野の現状と課題を認識する
3 社会福祉機関・施設等で働く社会福祉士（ソーシャルワーカー）の基本的業務・役割について学ぶ
4 社会福祉実習生としての社会福祉現場について関心を持ち、見学実習に望むことができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
①	本学の実習体制について･･･オリエンテーション		講義
②	社会福祉の行政機関･･･社会福祉行政機関の概要、現状と課題	123	講義
③	児童福祉の分野･･･児童福祉サービスの体系、現状と課題	123	講義
④	障害者福祉（知的･身体）の分野･･･障害者福祉サービスの体系、現状と課題	123	グループ学習
⑤	障害者福祉（精神）の分野･･･障害者福祉サービスの体系、現状と課題	123	講義
⑥	老人福祉の分野･･･老人福祉サービスの体系、現状と課題	123	グループ学習
⑦	地域福祉の分野･･･地域福祉サービスの体系、現状と課題	123	講義
⑧	医療の分野･･･医療機関のソーシャルワークの体系、現状と課題	123	グループ学習
⑨	各領域について各自の意識の明確化、全体発表	4	演習・グループ学習
⑩	同上	4	演習・グループ学習
⑪	見学の準備･･･オリエンテーション	4	演習・グループ学習
⑫～⑮	グループに分かれ、新潟県内の社会福祉機関・施設を見学し、現場の状況を理解する。グループ分け・見学スケジュールについては別途指示する。	1234 1234	見学実習
⑯	実習後学習･･･見学実習を踏まえてグループごとに学習する	1234	グループ学習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年･価格･その他>
教科書	使用しない			
参考書	授業中に指示する			
その他の資料	適宜配布する			

【評価方法】

出席状況、レポート、見学態度等により総合的に評価する。

【履修上の留意点】

この科目は社会福祉援助技術現場実習Ⅱ（2年次）･Ⅲ（3年次）の基礎になるものであり、1年次に履修し単位を取得しておかなければならない。学内学習時間･場所などについては、前期の初めに提示するので確認すること（授業は5月から始まる）。
特に見学実習を欠席した場合は単位を与えないこともある。